

平成29年度第7回神栖市行財政改革推進委員会 会議要旨

| | |
|--|---|
| 日 時 | 平成29年11月20日（月） 午後1時30分～午後3時00分 |
| 場 所 | 神栖市役所 3階 庁議室 |
| 案 件 | (1) 平成27～28年度改革チャレンジプランの取組に対する提言書 について |
| 出席委員数 | 8名 |
| 傍聴者 | 0名 |
| 会議の要旨等 | |
| <p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 案件</p> <p>(1) 平成27～28年度改革チャレンジプランの取組に対する提言書について</p> <p>前回会議に続き、提言書の集約作業を実施し、作成を終了した。</p> <p>以下、集約作業中、委員から出た主な意見を掲載。</p> <ul style="list-style-type: none">・研修を受講させるだけでは人材育成はできない。職員の能動的な能力向上を望む。愛媛県で主催し、全国を対象に開催されている行革甲子園への参加などをぜひ検討されたい。・市民協働（プラン5）と自主防災組織（プラン10）、保健師の地区担当制（プラン12）と国民健康保険の安定運営（プラン20）など、情報共有することなどによって、効果が上がると考えられるものがある。プラン間で連携を図るように。・行財政改革推進委員会の意見が具体的にどのように取組に反映されているのか、見えてこない。市長を本部長とする行財政改革推進本部と委員会との意見交流の場の設置を検討されたい。・市民活動と市の連携は不可欠。市役所全体での推進を望む。・組織の運営は、部課長などの管理能力にかかるところが大きい。民間企業においても同様である。管理職も常に勉強していかなければならない。 <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> | |